

# 平成26年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち  
 政策目標 4 子どもが健やかに育つまちに  
 重点的取組 1 地域の人みんなで子育てを支える

担当課名	福祉保健部 児童課		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	03	民生費
	項	02	児童福祉費
目	03	保育園費	

事業名	保育園管理運営事業	事業開始年度	平成 年度
		根拠法令 条例 個別計画等	児童福祉法第24条第1項 廿日市市保育の実施に関する 条例

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	保育に欠ける児童	保護者に代って、保護者の就労、疾病などにより保育に欠ける児童の保育を行う。 多様な保育ニーズに対応するため、障害児、0歳児、延長、一時の各特別保育を実施する。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	各認可保育園	保育園への入園調整、保育園保護者負担金の算定・請求、保育園の施設管理等保育園の円滑な運営のための事務、認可保育所の認可・指導監督等

## 3 平成26年度 予算(事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

活動内容	保護者の就労、疾病などにより児童が保育に欠ける場合、保護者に代わって、その児童を保育園での保育を行っている(通常保育)が、これに加え、多様な保育ニーズに対応するため、延長保育、一時保育、障がい児保育などの特別保育を実施する。 ・認可保育園 公立保育園 19園 私立保育園 2園 認定こども園 2園 ・延長保育(実施園9園(私立を除く。)) 通常の保育時間内に迎えが困難な保護者を対象に、19時までの延長保育を実施する。 ・一時保育(実施園6園) 勤労形態の多様化に伴う一時的な保育や保護者の傷病等による緊急時に対応するため。 (対象事業は1歳以上。8時30分~17時。保育料1日あたり 3歳未満児 2,000円 3歳以上児1,600円) ・障害児保育(公立園19園+私立園2園) 通園可能な中程度までの障害を持つ児童の保育を実施する。  事業費関連(平成26年度予算) 【歳入】 保護者負担金 516,295 千円 広域入所負担金 2,985 千円 運営費負担金(国1/2) 3,161 千円 運営費負担金(県1/4) 1,581 千円 保育対策促進事業費補助金(県2/3) 1,153 千円 産休代替職員費補助金(県) 805 千円 保育園土地使用料 10 千円 その他 35,136 千円  【歳出】 非常勤報酬等 64,181 千円 臨時職員賃金等 437,465 千円 燃料費 17,571 千円 光熱水費 49,469 千円 給食材料費 137,856 千円 修繕・維持補修費 8,967 千円 保守点検他業務委託料 28,270 千円 工事請負費 9,000 千円 備品購入費 1,600 千円 その他管理運営費 104,133 千円						
	コスト情報(円)	項目	平成24年度決算	平成25年度予算	平成26年度予算		
直接事業費A		821,478,696	855,106,000	858,512,000			
財源内訳		国庫支出金	4,458,880	5,089,000	3,161,000		
		県支出金	12,908,440	9,200,000	7,426,000		
		借入金(市債)					
		その他(使用料など)	584,306,292	560,207,000	550,539,000		
		市(市税など)	219,805,084	280,610,000	297,386,000		
人件費(按分)B		1.00人 8,772,000	1.00人 8,752,000	1.00人 8,511,000			
総事業費(A+B)		830,250,696	863,858,000	867,023,000			
ト換算		① 人口(4月1日現在)	118,000人	118,000人	117,680人		
	② 市民1人当たり	7,036	7,321	7,368			
到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H26目標値	H27目標値	備考
	活動	職員による施設点検の実施	園	20	20	20	20
	成果	入園者数(公立)	人	2,327	2,350	2,370	2,400
		施設の安全な運営	園	20	20	20	
成果	入園者数	人	2,338	0	0		